

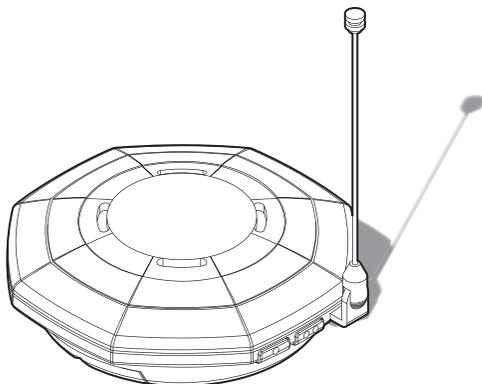
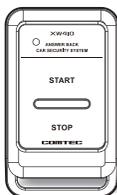
アンサーバック式カーセキュリティシステム
[OBD II接続タイプ]

取扱説明書／保証書

XW410

12V 車専用

純正キーレスやスマートキーの操作で警戒モードの開始/解除が可能な車両は、弊社ホームページの「XW410純正キーレス連動対応車種一覧表」をご確認ください。



この度はOBD II接続タイプカーセキュリティシステム XW410 をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本製品はOBD IIアダプターを使って車内に装着し、衝撃やドアの開放、車両の傾きおよび電源の切断を検知すると威嚇LEDおよびサイレン音による警告・警報を行い、車上ねらいや車両盗難等を抑制する装置です。

本書には取付けおよび操作手順が説明されています。正しくご使用いただくために本書をよくお読みのうえご使用ください。また読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。

⚠ 注意

本製品は車体への衝撃やドアの開放、車両の傾きおよび電源の切断を検知し警報を行う装置です。車上ねらいや車両盗難等への多大な防犯効果は期待できませんが、完全に防止できるものではありません。また本製品の作動の有無にかかわらず車両盗難、車上ねらい、車両へのイタズラ等が発生しましても、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

本書の見かた

⇒ PXX	参照先を記載しています。(XXはページ)
 アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。

最新版の取扱説明書は弊社ホームページで確認いただけます。

<http://www.e-comtec.co.jp>

COMTEC

F-Ver.1 312041

目次

目次	2	応用操作	25
安全上の注意	3	各種設定を変更する	25
各部の名称	5	威嚇LEDの点滅パターン	31
梱包内容	5	警報履歴を確認する	32
オプションについて	5	パニックアラーム機能	33
メインユニット	6	立体駐車場モード	34
リモコン	6	付録	35
ご使用の前に	7	セキュリティステッカーの 貼付け場所について	35
通信範囲	7	リモコンのIDコードを登録する	36
リモコンの電池を交換する	8	設定を初期状態に戻す (オールリセット)	38
メインユニットの 内蔵バッテリーを交換する	9	お買い上げ時の設定一覧	38
取付け	10	故障かな?と思ったら	39
取付け概要図(参考例)	10	アフターサービスについて	40
車両へ接続する	11	製品仕様	41
初期設定の手順を確認する ※純正キーレス連動対応車種のみ	12	保証規定	42
初期設定を行う ※純正キーレス連動対応車種のみ	13	保証書	裏面
メインユニットを固定する	16		
基本操作	17		
リモコンの電源をONにする (工場出荷時はOFF)	17		
リモコンの通信エリアを確認する	18		
警戒モードを開始する	19		
警戒モードを解除する	20		
警報動作を停止する	21		
警報動作について	22		
車両バッテリーの電圧が 下がってくると	24		
リモコンの電池がなくなってくると	24		

安全上の注意

ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また注意事項は誤った取扱いをした時に生じる危害や損害の程度を、「警告」と「注意」の2つに区分して、説明しています。

⚠ 警告 警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。

⚠ 注意 注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

⚠ 警告

事故・火災等の危険性があるため、下記の状態や場所での使用は避けてください。

- 本製品を分解、改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 運転中は、本製品を絶対に操作しないでください。わき見運転は、事故の原因となります。
- 本製品は、運転や視界の妨げにならず、車両の機能（エアバッグ等）の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- 本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車両故障の原因となります。
- 本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。
- 本製品を不用意に人や動物の近くで作動させないでください。聴覚障害になる恐れがあります。

⚠ 注意

機能面に支障を起こす可能性がある下記の使用に十分注意してください。

- エンジンスターターや他のセキュリティシステムとの併用は行わないでください。誤警報の原因となります。
- 本製品はオープンカー等、密閉性の低い車両では使用できません。
- 指定の電池およびバッテリー以外は使用しないでください。
- 本製品は12V車のみ使用可能です。24V車には使用できませんのでご注意ください。
- メインユニットやリモコンを直射日光が当たる場所に長時間放置しないでください。
- 本製品は防水加工されていません。雨、水等のかかる場所や濡れた手でのご操作は避けてください。また製品内部に水分が侵入した場合、故障の原因となり修理不可となります。
※急激な温度変化による結露や汗をかいた手で触ったり、ポケットなどに入れた状態で雨や汗による蒸れ等によって内部に水分が浸透する恐れがありますのでご注意ください。

安全上の注意

ご使用上の注意

- 本製品は下記のような状況では、音や振動を検知して警報を発する事があります。
 - ・ 強い雨やヒョウなどが降っていたり、強い風が吹いている
 - ・ 地下駐車場等、空調ファンの振動や音が発生している場所
 - ・ 改造マフラーを装着している車やバイクが付近を走行した場合
 - ・ その他の振動・騒音が発生している場所
- 本製品の取付けは、確実に固定してください。固定が不十分だと誤作動の原因となります。
- 本製品の故障による代替品の貸出は一切行っておりません。
- 本製品を修理・点検期間中又は故障などによる作動不良時における車両盗難、車上狙い、車両へのイタズラ等が発生しても、弊社では一切の責任は負いかねます。
- 工場出荷時、メインユニットのバッテリーはテスト用の充電しかされておりません。商品の状態（自然放電等）によっては電池容量不足で作動しない場合がありますので、初めて使用する時は必ずメインユニットのバッテリーを充電してください。
- 車両のバッテリーを外すなど電源を切断しても警報を行わなかったり、警報音量が小さい場合は、内蔵バッテリーの交換をお勧めします。
- 部品の交換修理、オプション品の購入に関しましては、ご購入された販売店にお問い合わせください。
- 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。ご了承ください。

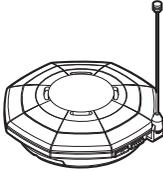
電波法について

- メインユニット裏バッテリーケース内およびリモコン裏バッテリーケース内の技術基準適合証明ラベルは剥がさないでください。このラベルを剥がすと技術基準適合機として認められなくなりますので、必ずラベルが貼られた状態で使用して下さい。
- 分解したり改造することは電波法で禁止されています。改造して使用すると電波法により罰せられることがあります。
- 海外では使用しないでください。

各部の名称

梱包内容

XW410 メインユニット

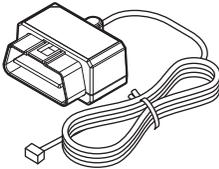


リモコン



※出荷時リモコンの電源はOFFになっています。

OBD IIアダプター (1個 / 約 1.5m)



粘着シート (1枚)
(メインユニット固定用)

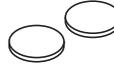


メインユニット用
専用バッテリー (1個)



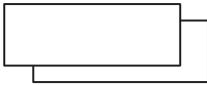
※出荷時メインユニットにセットされています。

リモコン用ボタン電池 (2個)
(CR2032)

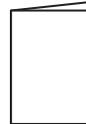


※出荷時リモコンにセットされています。

セキュリティステッカー (2枚)



取扱説明書 (本書)



オプションについて

本製品は以下のオプションを取付け可能です。

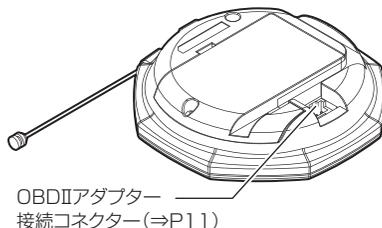
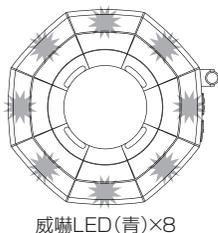
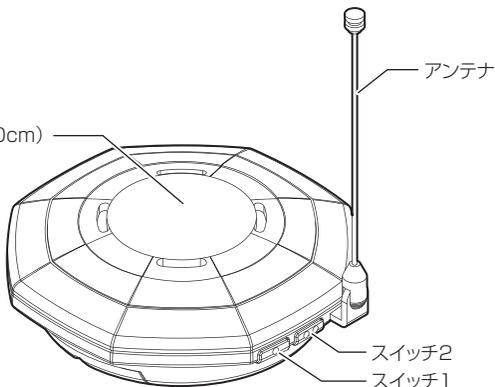
品番	品名	使用目的
—	XW410 専用追加リモコン	リモコンを追加することができます。
OBD2-OP1	OBD IIコネクタ分岐ハーネス	弊社製 OBD II 接続対応製品 (OBD2-R1 は除く) と併用することができます。 ※他社製品との併用はできません

※ 本製品は付属リモコン以外に 1 個リモコンを追加登録することができます。(合計 2 個)

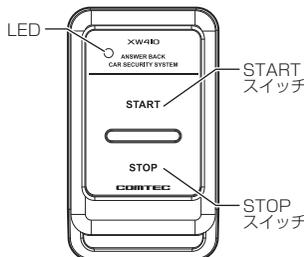
各部の名称

メインユニット

サイレン警報音圧：
最大115dB(正面10cm)



リモコン



リモコン操作一覧

作動内容	操作方法	詳細
警戒モードを開始する	START スイッチを短押しする	P19
警戒モードを解除する	STOP スイッチを短押しする	P20
警報動作を停止する	START スイッチまたは STOP スイッチを短押しする	P21
パニックアラーム機能	START スイッチを2秒長押しする	P33
リモコンの電源をONにする	START スイッチと STOP スイッチ を同時に2秒長押しする	P17
リモコンの電源をOFFにする		

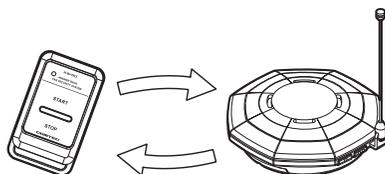
通信範囲

本製品は特定小電力無線を使用しています。通信範囲は条件によって異なります。下記表を参考にするか、通信エリアの確認信号が受信できることを確認のうえ、ご使用ください。(⇒P18)

※ 通信範囲は弊社測定による最大値です。取付場所や周囲環境によって通信範囲は変化します。

通信距離の目安 (弊社測定値)	
市街地	150m ~ 300m
郊外	300m ~ 600m

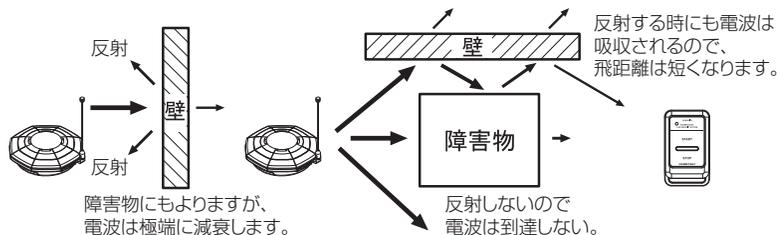
※ 通信距離の目安は一般的な電波環境での目安であり、通信距離をお約束するものではありません。地下や屋内等では電波が届かないため、上記目安より短くなります。



アドバイス

電波特性について

- ・鉄筋コンクリートの壁や、トタン等電気を通す障害物が車とリモコンの間にあると、極端に到達距離が短くなります。(電波が障害物によって反射するため) また、メインユニットの取付け場所やピラー等の障害物の有無によっても短くなる事があります。
- ・電波は直進しかしません。ただし反射しながら飛ぶ場合があります。車が直接見えていなくてもまわりに反射できそうな壁・建物等があれば届くことがあります。逆に、車との間に障害物があった場合まわりに反射できる壁・建物等がなければ届きません。



- ・リモコンを操作する場合は、電波の送信性を安定させるためにリモコンケースを手で包み込む事のないように操作してください。



ご使用の前に

リモコンの電池を交換する

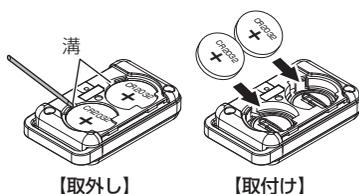
製品購入時にはリモコンの電池は装着されています。電池を交換する場合は以下の手順に従って電池を装着し、**必ずリモコンの電源を ON にしてください。**

- 1) 電池カバーの切り欠き部に爪をかけ、電池カバーを矢印の方向へ持ち上げ取外します。



- 2) 右図の溝に細い棒等を入れ古い電池を取外し、新しい電池 (CR2032 × 2 個) の⊕を上側にしてセットします。

※必ず新しい電池 2 個と交換してください。



- 3) 電池カバーの凸部をリモコン側面に差込み、「カチッ」と音が鳴るまで上から押込みます。



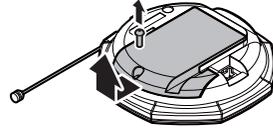
- ・指定電池 (CR2032) 以外は使用しないでください。
- ・新品の電池を使用した場合、1日8回の操作で約5ヶ月間の使用が可能です。(弊社測定値。リモコンへの異常警報通知や使用条件により電池寿命は異なります)
- ・リモコンを長時間使用しないときは、電池を取外して保管してください。
- ・工場出荷時はテスト用の電池をセットしていますので電池自体が自然放電して電池寿命が約5ヶ月間を下回る場合があります。
- ・電池は消耗品です。約5ヶ月間程度で交換することをお勧めします。

メインユニットの内蔵バッテリーを交換する

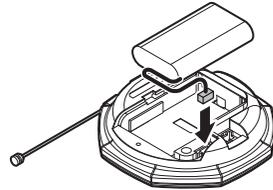
車両のバッテリーを外すなど、電源を切断しても警報を行わなかったり、警報音量が小さい場合は、内蔵バッテリーの交換をお勧めします。

※ 内蔵バッテリーの購入に関しましては、ご購入された販売店までお問い合わせください。

- 1) バッテリーカバーのネジ (M2 × 6mm) を緩め、バッテリーカバーをスライドさせ取外します。

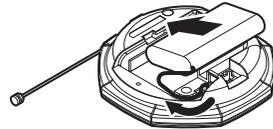


- 2) 古いバッテリーを取外し、メインユニットに新しいバッテリーのコネクターを接続します。



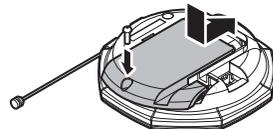
- 3) ケース内にバッテリーコードを挟まないように折りたたみ、バッテリーを入れます。

※防音用のスポンジに押当てながら内蔵バッテリーを入れてください。



- 4) バッテリーカバーをスライドさせ取付け、ネジ (M2 × 6mm) を締めてください。

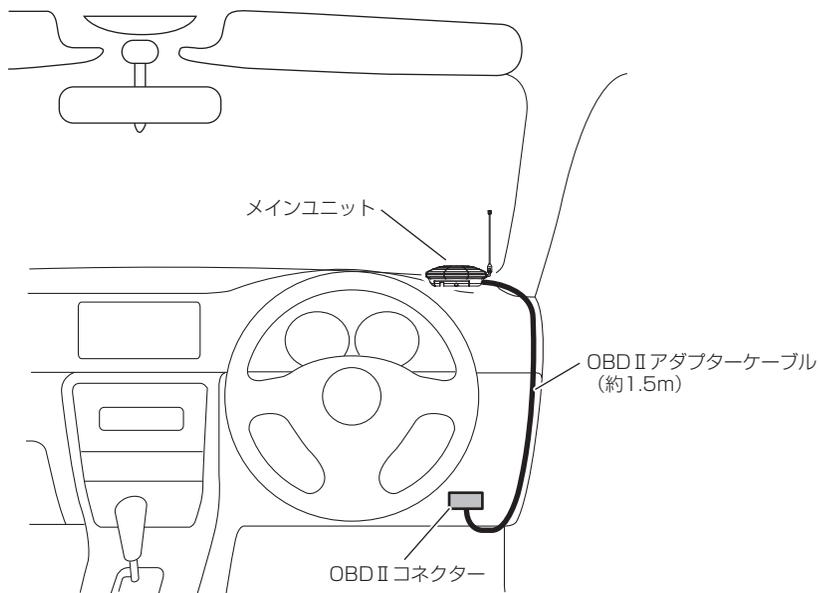
※バッテリーカバーを閉じる際、バッテリーコードをかみ込まないように注意してください。



- コネクターには極性がありますのでコネクターの凹凸に合わせてください。
- 専用バッテリーは消耗品です。2 時間以上充電をしてもすぐに作動しなくなる場合や充電ができなくなった場合は新しい専用バッテリーと交換してください。
- 専用バッテリーの購入に関しましては、弊社製品取扱店にてご注文ください。
- 本製品は専用バッテリーを使用しています。安全のため専用バッテリー以外は使用しないでください。

取付け

取付け概要図（参考例）

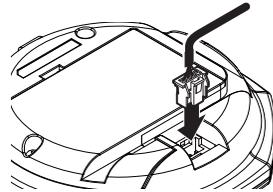


- 本製品は必ずダッシュボード上のなるべく水平な場所へ取付けを行なってください。水平な場所以外に設置すると誤動作の原因となります。
- メインユニットのアンテナは必ず立てた状態で使用してください。寝かせた状態で使用すると、通信距離が著しく短くなります。
- 本製品の取付けは必ず、他の電子機器から 30cm 以上、車両ピラーから 5cm 以上離して設置してください。リモコンの操作できる範囲が短くなったり、操作できなくなったりする恐れがあります。

車両へ接続する

- 1) 付属 OBD II アダプターのケーブルの配線を行い、メインユニットへコネクターを接続します。

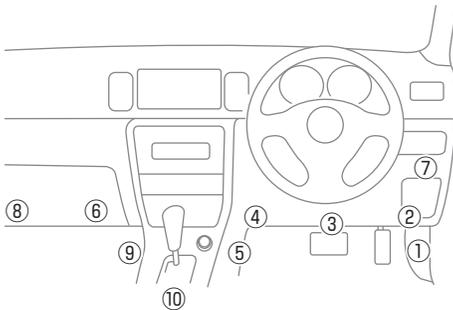
※本製品はメインユニットの取付位置によってケーブルの配線方向を3方向から選択することができます。



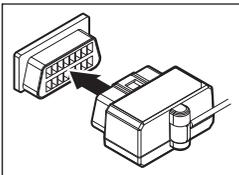
- 2) 車両 OBD II コネクターへ付属 OBD II アダプターを接続します。

・接続後メインユニットから「ピーピー・・・」と音が鳴ります。次ページ以降の「初期設定」を行なってください。

■車両 OBD II コネクター位置



番号	場所
①	アクセルペダル脇
②	運転席足元右側
③	運転席足元中央
④	運転席足元左側
⑤	センターコンソール右側
⑥	助手席足元右側
⑦	ステアリング右脇パネル裏側
⑧	助手席足元左側
⑨	センターコンソール左側
⑩	センターコンソール下



上記①～⑩の位置で車両 OBD II コネクターを探して接続を行なってください。
車両によってはカバーが付いていたり、コンソール内に存在する場合があります。

⚠ 警告

- ・ハンドル操作やアクセルやブレーキ等の運転操作の妨げになるような配線は行わないでください。事故や怪我の原因となります。
- ・ドアや車両金属部等に挟み込まないように配線を行なってください。

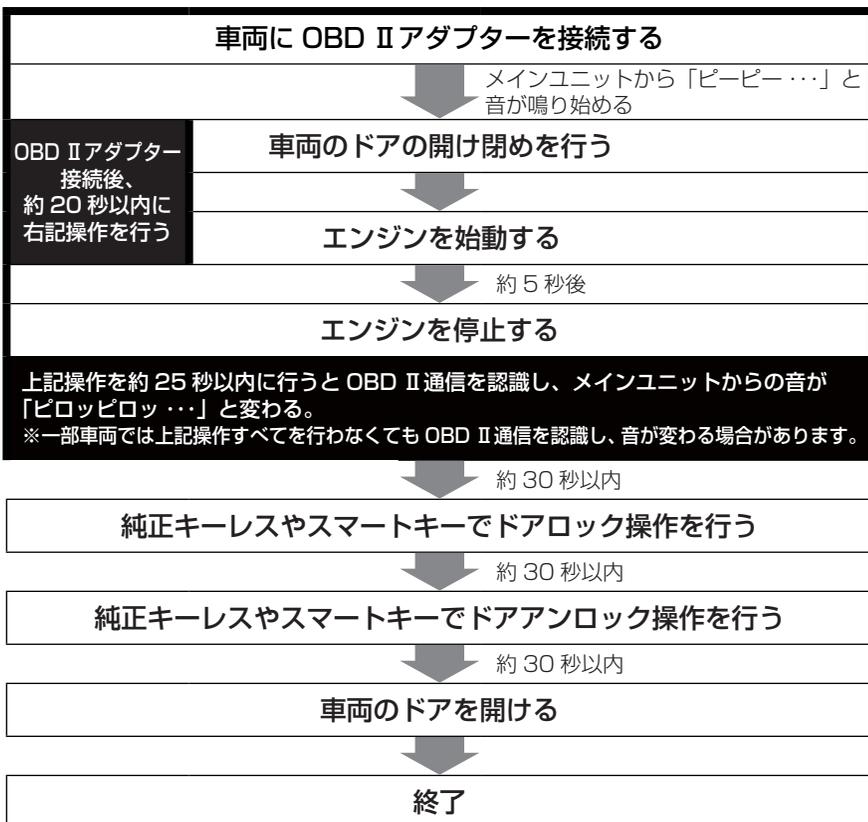
車両 OBD II コネクターにカバーが付いている場合、OBD II アダプターを取付けることにより、カバーが閉まらなくなることがあります。

取付け

初期設定の手順を確認する※純正キーレス連動対応車種のみ

弊社ホームページの「XW410 純正キーレス連動対応車種一覧表」に記載されている車両の場合、初期設定を行うことにより純正キーレスやスマートキーの操作に連動して警戒モードの開始 / 解除を行うことができます。下記手順を参考に初期設定を行なってください。

OBID II アダプターを接続しても操作を行わなかったり、対応していない車両など、OBID II 通信が行われなかった場合、約 30 秒間経過すると初期設定は終了します。

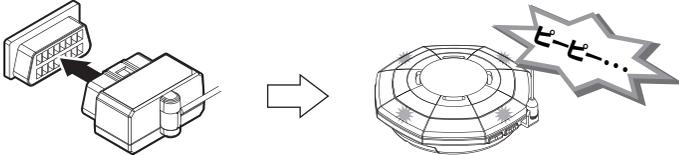


👉 アドバイス

OBID II コネクターを取出したり、車両バッテリーを取出すなど、メインユニットへの電源を切断した場合、再度上記初期設定を行う必要があります。

初期設定を行う※純正キーレス連動対応車種のみ

- 1) 車両のドアを開け、付属 OBD II アダプターを車両に接続します。
 - ・接続後メインユニットから「ピーピー・・・」と音が鳴り始め、LED が点灯します。
 - ・接続後約 20 秒以内に下記 2)、3) の操作を行います。



※ OBD II 通信に対応していない車両 (XW410 純正キーレス連動対応車種一覧表に記載されていない車両等) の場合、接続後リモコンの **[STOP]** スイッチまたはメインユニットの **[スイッチ 2]** を押し、初期設定をキャンセルしてください。

- 2) ドアを一度閉め、再度開け閉めを行います。

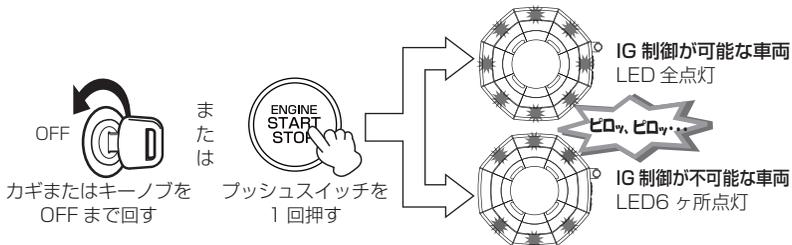


- 3) キーを回す、またはプッシュスイッチを押し、エンジンを始動します。



- 4) 約 5 秒後キーを OFF にする、またはプッシュスイッチを 1 回押してエンジンを停止します。

・IG OFF 後、車両 OBD II との通信を認識後、メインユニットからの音が「ピロップピロップ・・・」に変わり、IG 制御が可能な車両は LED が全点灯し、IG 制御が不可能な車両は LED が 6 ケ所点灯します (約 1 分間)

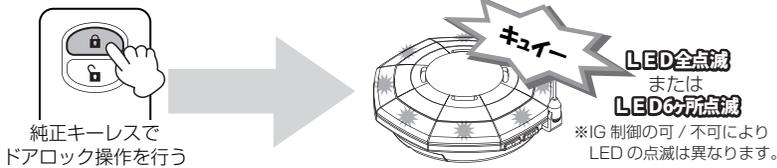


取付け

5) 4) の操作後 **30 秒以内** に純正キーレスやスマートキーでドアロック操作を行います。

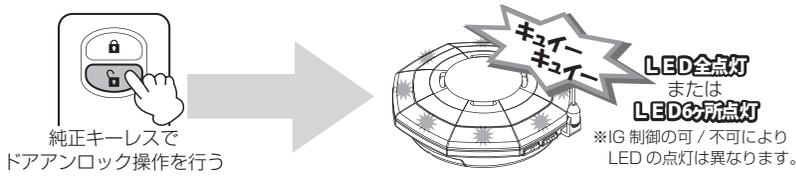
・メインユニットから「キューー」と音が鳴ります。

※音が鳴らない場合、OBD II 通信に対応していない車両となります。リモコンの【STOP】スイッチまたはメインユニットの【スイッチ 2】を押して初期設定を終了してください。

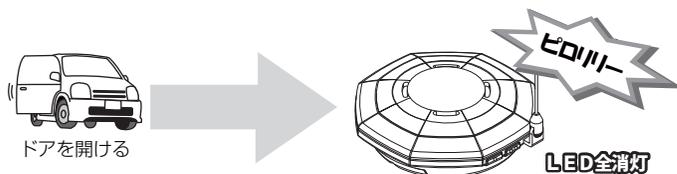


6) 5) の操作後 **30 秒以内** に純正キーレスやスマートキーでドアアンロック操作を行います。

・メインユニットから「キューー、キューー」と音が鳴ります。



7) 6) の操作後 **30 秒以内** にドアを開けるとメインユニットから「ピロリリー」と音が鳴り、初期設定は完了です。



👉 アドバイス

リモコンの【STOP】スイッチまたはメインユニットの【スイッチ 2】を押すことで、初期設定をキャンセルすることができます。その際メインユニットから「ブー」と音が鳴り、初期設定が終了します

純正キーレス連動対応車両、非対応車両の動作の違いについて

本製品は純正キーレス連動に対応している車両と非対応の車両とで一部動作が異なります。また、純正キーレス連動に対応している車両でも、IG 制御が可能な車両と不可能な車両とでも一部動作が異なります。

■動作一覧表

	純正キーレス連動対応車両		純正キーレス 非対応車両
	IG 制御が可能な車両	IG 制御が不可能な車両	
警戒モードの 開始 / 解除操作	車両純正キーレスまたは付属リモコン		付属リモコン
ドア開の検出	OBD II 通信によるドア開検知		空圧センサーによる ドア開検知
キー ON または IG ON による警報動作の停止	停止可能	停止不可	停止不可

👉 アドバイス

- ・純正キーレス連動対応車両については、弊社ホームページの「XW410 純正キーレス連動対応車両一覧表」をご確認ください。
- ・IG 制御可能な車両の場合、エンジンが始動している時やキーが ON の位置にある時など IG ON の状態では、**純正キーレスでの警戒モード解除操作(ドアアンロック操作)以外の**付属リモコンでの操作や純正キーレスでの操作はできません。

取付け

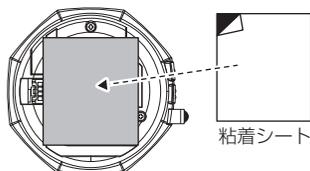
メインユニットを固定する

⚠ 注意

運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。また、自動車の機能（エアバッグ等）の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。

- ・本製品は必ずダッシュボード上のなるべく水平な場所へ取付けを行なってください。水平な場所以外に設置すると誤動作の原因となります。
- ・結露等によりメインユニット故障の恐れがありますので、エアコン吹出し口やその付近に取付けを行わないでください。

- 1) メインユニットの裏面に粘着シートを貼りつけます。



粘着シート使用上の注意

- ・粘着シートは汚れたり、ほこりがついたりして粘着力が弱まった場合、中性洗剤を使い洗うと粘着力が戻り、再度使用することができます。
- ・粘着シートは以下のような場所に取付けると貼付きにくく、不安定になることがあります。そのような場合は市販の強力型の両面テープを使用して取付けてください。

①取付け面が平坦な場所ではない。 ②取付け面が傾斜になっている。 ③ダッシュボード表面の凸凹が荒い。

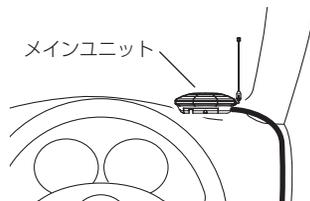


- ・ダッシュボードが変色したり、跡が残ったりすることがあります。あらかじめご了承ください。

- 2) ダッシュボード上のなるべく**水平な場所**にメインユニットを固定し、アンテナができるだけ垂直になるように角度を調整します。

※運転の妨げにならないようにメインユニットの固定およびアンテナの角度調整を行なってください。

※ピラーから5cm以上離して固定してください。リモコンの通信距離が短くなる恐れがあります。



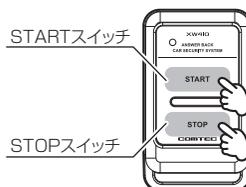
👉 アドバイス

真夏の炎天下等、本製品に長時間直射日光が当たる場所に駐車する際は、サンシェード等で直射日光が製品に当たらないようにすることをおすすめします。長時間直射日光や高温にさらされた状態で使用すると、メインユニットの受信感度やセンサーの感度が落ちる場合があります。

リモコンの電源を ON にする (工場出荷時は OFF)

製品購入時や電池を交換した際はリモコンの電源は OFF になっています。**ご使用前に必ず電源を ON にしてください。**

- 1) リモコンの【START スイッチ】と【STOP スイッチ】を同時に 2 秒間押します。
- 2) リモコンの LED が緑点灯し、「ピッ」と音が鳴り電源が入ります。



アドバイス

リモコンの電源が ON になっていないと、警戒モードの開始・解除の操作や、警報時にリモコンへの異常通知が受信できません。

リモコンの電源を OFF にする

リモコンの電源が ON の状態で上記操作を行うとリモコンの電源を OFF にすることができます。

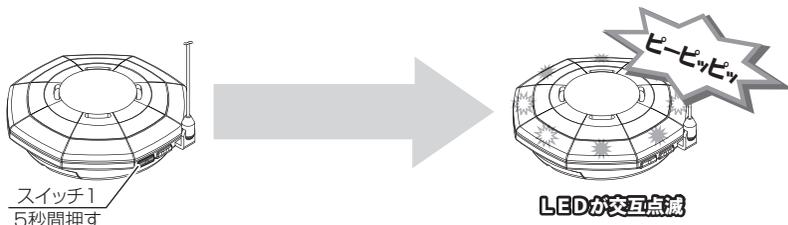
その際リモコンから「ピーー」と音が鳴ります。

基本操作

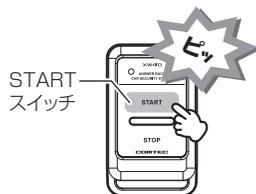
リモコンの通信エリアを確認する

リモコンで通信できるエリアを確認することができます。ご自宅と駐車場が離れている場合など、リモコンでメインユニットからの送信電波を受信できることを確かめるうえで使用ください。

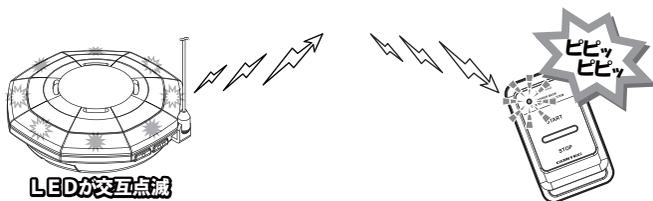
- 1) 警戒解除中にメインユニットの【スイッチ 1】を 5 秒間押す
・メインユニットから「ピーピッ」と音が鳴り、LED が交互に点滅します。



- 2) リモコンの【START スイッチ】を押す
・「ピッ」とスイッチ操作音が鳴ります。



- 3) 通信エリア内にいるとリモコンからアラーム音が約 5 秒ごとに「ピピッ ピピッ」と鳴り、LED 表示部が緑点滅します。
・通信エリア圏外にいると送信電波を受信できないため、リモコンからアラーム音は鳴らず、リモコンの LED 表示部が早い赤点滅に変わります。



通信エリアの確認を終了する

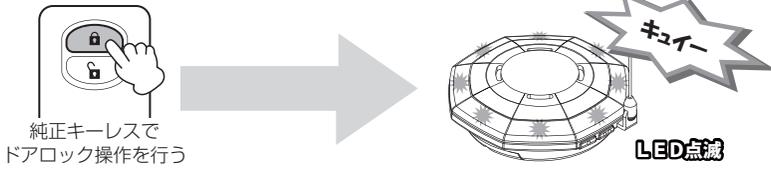
通信エリアの確認を終了するには、再度メインユニットの【スイッチ 1】を 5 秒間押すか、リモコンで警戒モードの開始、解除操作にてメインユニットを作動させることにより終了できます。また約 10 分経過することでも終了します。

警戒モードを開始する

すべての窓を閉めてエンジンを切り、降車してすべてのドアをしっかりと閉めてください。窓が開いていると車内の気圧の変化や衝撃を正しく検知できません。

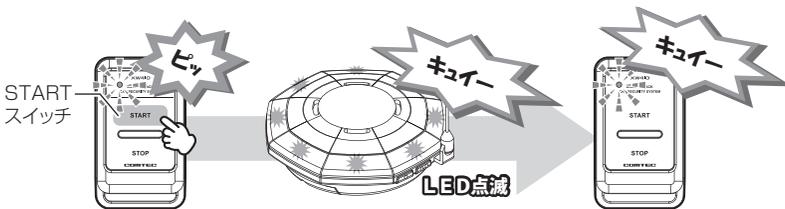
純正キーレスやスマートキーで開始する※純正キーレス連動対応車種のみ

- 1) 純正キーレスやスマートキーでドアロック操作を行う。
 - ・メインユニットから「キューー♪」と音が鳴ります。
 - ・威嚇 LED が設定したパターンで点滅 (⇒ P31) し、警戒モードとなります。



リモコンで開始する

- 1) 【START スイッチ】を短押しします。
 - ・「ピッ」とスイッチ操作音が鳴り、リモコンの LED が点灯します。
 - ・メインユニットから「キューー♪」と音が鳴ります。
 - ・リモコンから「キューー♪」とアンサーバック音が鳴り、LED が点灯します。
 - ・威嚇 LED が設定したパターンで点滅 (⇒ P31) し、警戒モードとなります。



アドバイス

- ・純正キーレス連動対応車種で IG 制御が可能な車両の場合、エンジンキーが ON になっていると警戒モードを開始できません。
- ・キャンセルタイマー中は、威嚇 LED が全点滅します。このとき、各種センサーは異常を検知しません。
- ・キャンセルタイマー中に再度リモコンで警戒モードの設定操作を行うと、警戒モードに移行します。
- ・車両バッテリーの充電がなくなってくると、警戒モードの開始/解除時の動作が変化します。(⇒ P24)

基本操作

警戒モードを解除する

純正キーレスやスマートキーで解除する※純正キーレス連動対応車種のみ

- 1) 純正キーレスやスマートキーでドアアンロック操作を行う。
 - ・メインユニットから「キューイー、キューイー♪」と音が鳴ります。
 - ・威嚇 LED が消灯します。



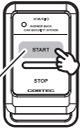
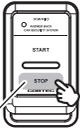
リモコンで解除する

- 1) 【STOP スイッチ】を短押しします。
 - ・「ピッ」とスイッチ操作音が鳴り、リモコンの LED が点灯します。
 - ・メインユニットから「キューイー、キューイー♪」と音が鳴ります。
 - ・リモコンから「キューイー、キューイー♪」とアンサーバック音が鳴り、LED が点灯します。
 - ・威嚇 LED が消灯します。



警報動作を停止する

警報を停止する場合、警戒モードの開始操作または解除操作を行います。

操作内容		状態
 <p>STARTスイッチ</p>	<p>【START スイッチ】を押す。</p>	
<p>※<u>純正キーレス連動対応車種のみ</u></p>  <p>ロックスイッチ</p>	<p>純正キーレスやスマートキーで ドアロック操作を行う。</p>	<p>警報を停止し、警戒 モードに戻ります。</p>
 <p>STOPスイッチ</p>	<p>【STOP スイッチ】を押す。</p>	
<p>※<u>純正キーレス連動対応車種のみ</u></p>  <p>アンロックスイッチ</p>	<p>純正キーレスやスマートキーで ドアアンロック操作を行う。</p>	
<p>※<u>純正キーレス連動対応車種で IG 制御が可能な車両のみ</u></p>  <p>ON</p> <p>カギまたはキーノブを ON まで回す</p>  <p>ブレーキを踏まずに プッシュスイッチを 2 回押す</p>	<p>キーを ON まで回す、 またはプッシュスイッチを ブレーキを踏まずに 2 回押し て IG を ON にする。</p>	<p>警報を停止し、警戒 モードを解除します。</p>

基本操作

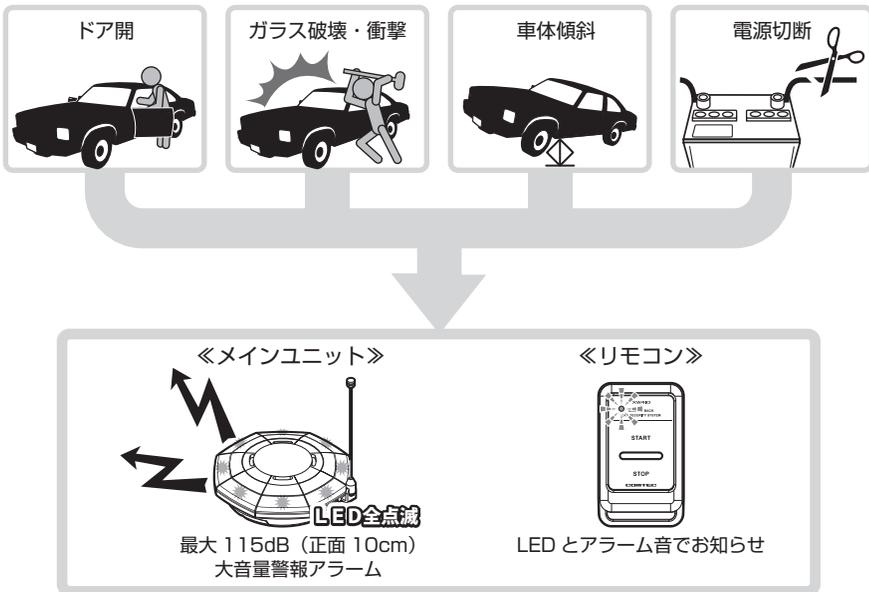
警報動作について

メインユニットの警報動作

警戒モード中に窓ガラス破壊・車体への強い衝撃やドア開、車両の傾きおよび電源の切断を検知したときには、警報〔威嚇LEDが短い間隔で全点滅し、最大115dB（正面10cm）のサイレンで警報〕を行います。警報は約30秒後に停止しますが、警戒モードは継続していますので、再度異常を検知すると警報します。
※ トランク開やバックドア（テールゲート）開、ボンネット開の異常検知には対応していません。

👉 アドバイス

純正キーレス非対応車の場合、衝撃の警報中にドアを開けられても、ドア開の警報には切替わりません。また、ドア開の警報中に衝撃を受けても衝撃の警報には切替わりません。
※ リモコンへのアラーム通知はメインユニットの警報に連動します。



リモコンへの異常通知

リモコンは異常通知を受信すると異常内容別のLED点滅とアラーム音でお知らせします。

リモコンへの通知終了後も、警戒モードは継続していますので再度異常通知を受信するとLED表示とアラーム音でお知らせします。

※ ただし、リモコンが通信エリア圏外の場合は、アラーム通知はされません。

警戒モード中に衝撃を検知した時やドアが開いた時に、下記表の動作や表示を行います。警告、警報後は警戒モードに戻り、再度異常を検知すると警告、警報を行います。

	弱い衝撃 (警告)	強い衝撃 (警報)	ドア開 (警報)	車両傾斜 (警報)	電源切断 (警報)
メインユニット 警報	「ピロピロピロ」が 3回～6回鳴ります。 (※アドバイス参照)	「ピロピロピロ…」が 約30秒間鳴ります。	「キューー…」が 約30秒間鳴ります。	「ビュビュビュ…」が 約30秒間鳴ります。	「キューー…」が 約30秒間鳴ります。
メインユニット 威嚇LED	早い全点滅を 約2秒間します	早い全点滅を約30秒間します。			
リモコン	「ピーピーピー」が 1回鳴ります。	「ピーピー…」が 約30秒間鳴ります。	「ビビビビッ…」が 約30秒間鳴ります。	「ビビビビッ…」が 約30秒間鳴ります。	「ビビビビッ…」が 約30秒間鳴ります。

- 車両のバッテリーを外すなど電源を切断しても警報を行わなかったり、警報音量が小さい場合は、内蔵バッテリーの交換をお勧めします。
- 使用頻度にもよりますが、約2年を目安に交換することをお勧めします。
- 内蔵バッテリーの購入に関しましては、ご購入された販売店へお問い合わせください。

👉 アドバイス

誤警報キャンセル機能

弱い衝撃は連続して検知（警告後15秒以内に再検知）すると、警告音「ピロピロピロ」が3回、4回、5回、6回とステップアップして警告を行います。また5回目以降の警告は誤動作とみなし、キャンセルされます。



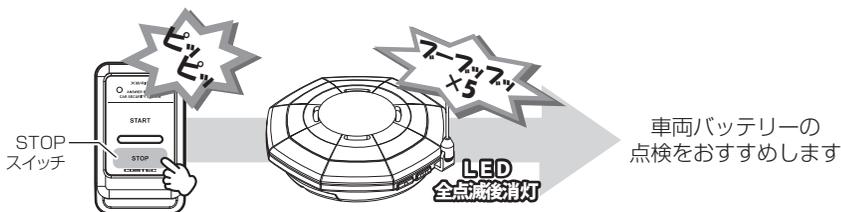
基本操作

車両バッテリーの電圧が下がってくると

本製品は警戒モード中に車両バッテリー電圧の監視を行い、電圧が約 9V 以下になると下記のように動作が変化します。その際は車両バッテリーの点検をおすすめします。

- 車両バッテリー電圧が低下した時 **1度だけ**、リモコンのLEDが橙点滅し、「ブーブッ」が3回鳴りお知らせします。
- 警戒モードの開始/解除操作の時にメインユニットから **1度だけ**、『ブーブッ』が5回鳴ります。

例) 警戒モード解除時



リモコンの電池がなくなってくると

リモコンの電池電圧がなくなってくると、スイッチ操作時の音が『ブーブッ』と変わります。スイッチ操作音が変わった場合は、すみやかに電池を2個とも交換してください。(⇒ P8)

例) 警戒モード開始時



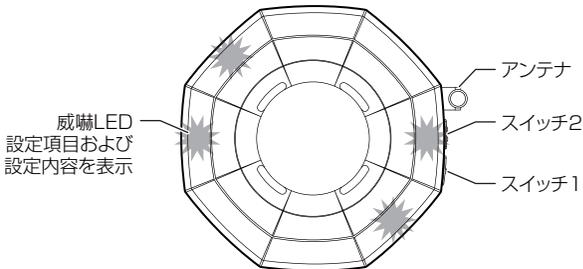
各種設定を変更する

下記の設定内容を、メインユニットのスイッチ操作で変更することができます。

※ 警戒モード中は変更できません。

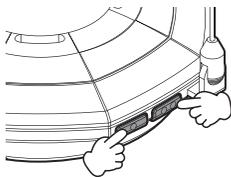
- | | |
|--------------------|---------------------|
| ① 衝撃センサーの感度設定 | ⑤ 警報音設定 |
| ② 空圧センサーの感度設定 | ⑥ キャンセルタイマー設定 |
| ③ 傾斜センサーの感度設定 | ⑦ リモコン ID 登録 / 追加登録 |
| ④ 威嚇 LED の点滅パターン設定 | ⑧ オールリセット |

- ・ 設定モードを開始してから 30 秒間操作を行わないと、メインユニットからブザー音が「ブー」と鳴って設定モードが終了します。なお、この時に変更した設定内容はすべて無効になります。
- ・ 設定モード中にリモコンの START スイッチまたは STOP スイッチを押しても設定モードは終了します。その際も変更した設定内容はすべて無効になります。
- ・ 設定の登録操作を行わないと、変更した設定内容はすべて無効になります。

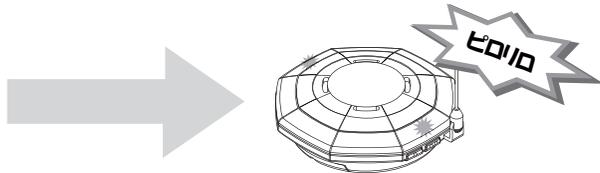


設定モードを開始する

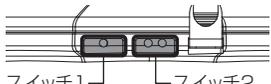
警戒モード解除中、メインユニットの【スイッチ 1】と【スイッチ 2】を同時に 2 秒長押しすると、メインユニットから「ピロリロ」と鳴り、設定モードに入ります。

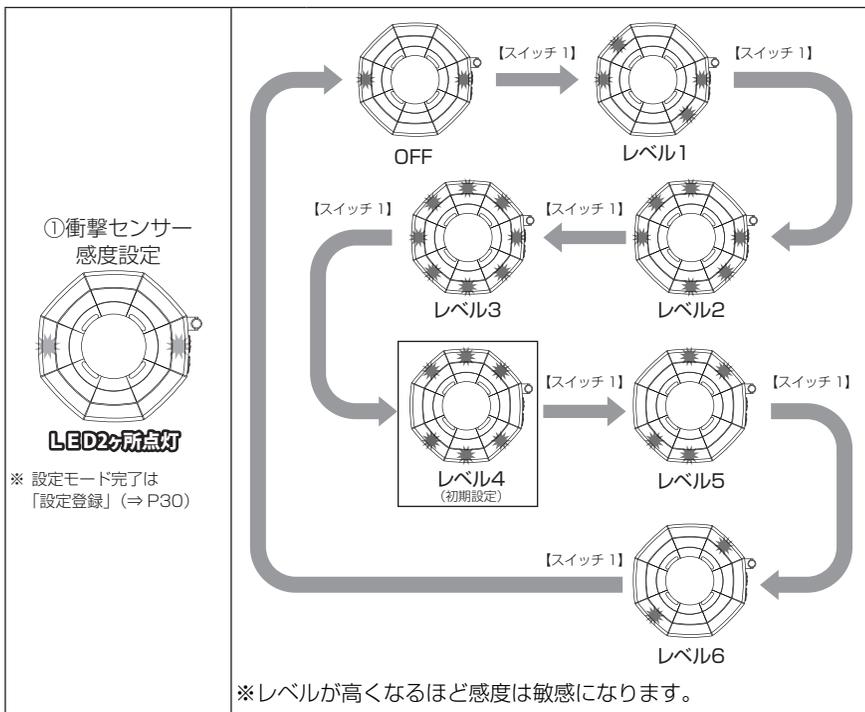


同時 2 秒長押し



応用操作

項目変更	↓	【スイッチ 2】 1 回押し	
設定変更	→	【スイッチ 1】 1 回押し	



↓ スイッチ 2

次ページへ

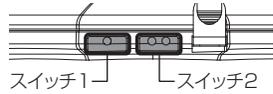
前ページのつづき



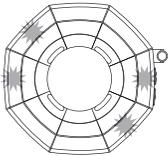
【スイッチ 2】 1 回押し



【スイッチ 1】 1 回押し

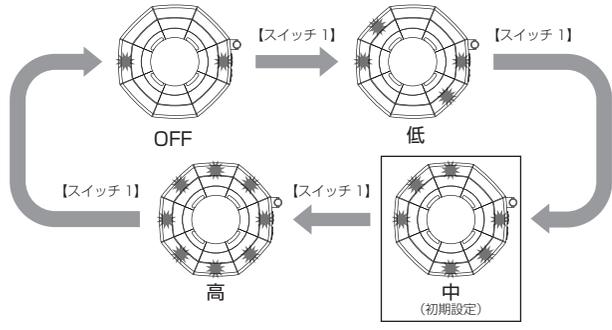


②空圧センサー
感度設定



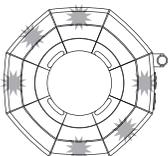
LED4ヶ所点灯

* 設定モード完了は
「設定登録」(⇒ P30)



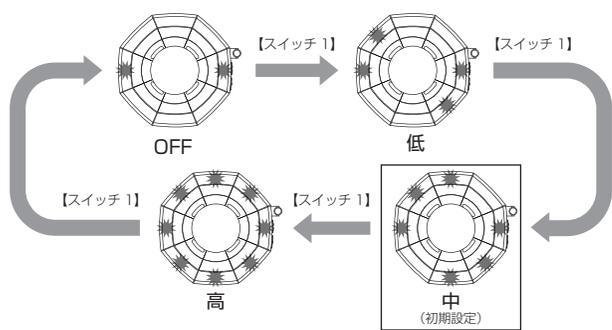
スイッチ 2

③傾斜センサー
感度設定



LED6ヶ所点灯

* 設定モード完了は
「設定登録」(⇒ P30)



スイッチ 2

次ページへ

応用操作

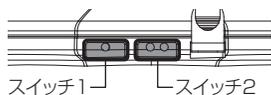
前ページのつづき



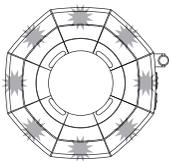
【スイッチ 2】 1 回押し



【スイッチ 1】 1 回押し

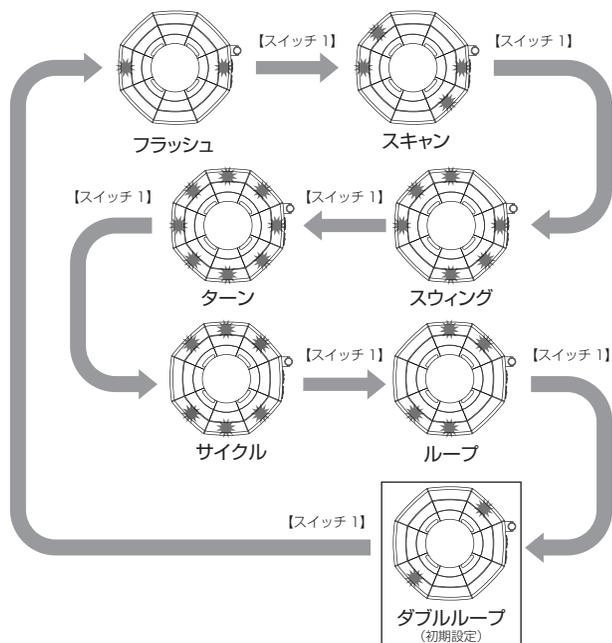


④ LED 点滅パターン
設定 (⇒ P31)



LED全点灯

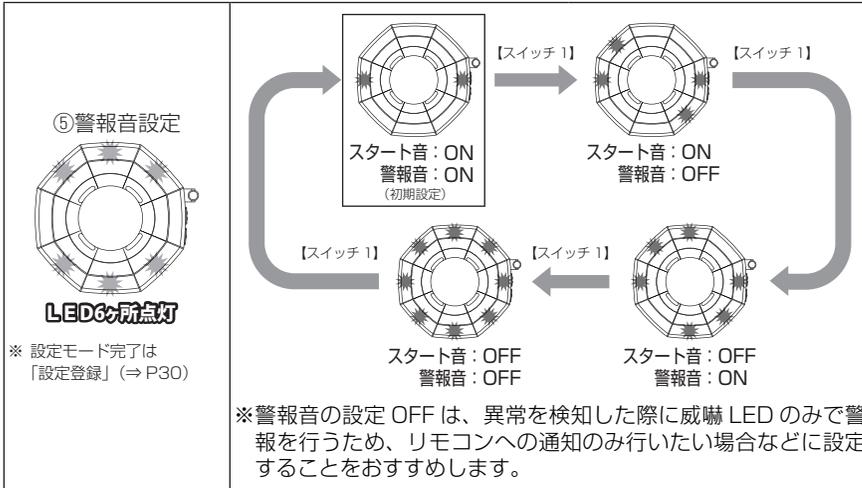
※ 設定モード完了は
「設定登録」 (⇒ P30)



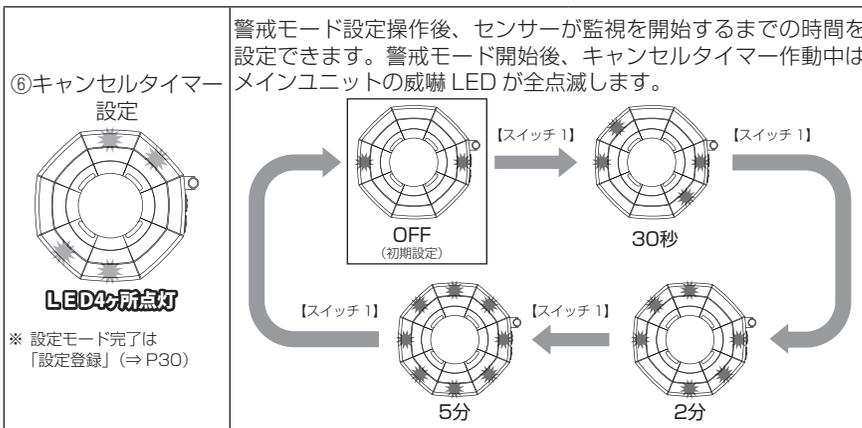
スイッチ 2

次ページへ

前ページのつづき



スイッチ 2



スイッチ 2

次ページへ

応用操作

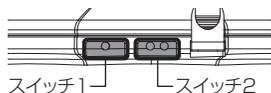
前ページのつづき



【スイッチ 2】 1 回押し



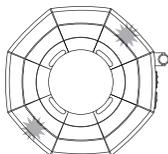
【スイッチ 1】 1 回押し



スイッチ1

スイッチ2

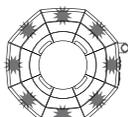
⑦ ID 登録 (⇒ P34)



LED2か所点灯

※ 設定モード完了は
「設定登録」(⇒ P30)

スイッチ 1 を押し



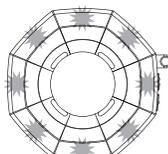
LED全点灯

ID 登録モードへ
(⇒ P36)



スイッチ 2

⑧ オールリセット
(⇒ P36)



LED全点灯

※ 設定モード完了は
「設定登録」(⇒ P30)

スイッチ 1 を
2 秒長押しすると



LED全点灯

オールリセット
します。

※すべての設定項目が工場出荷時の設定に戻ります。

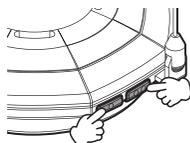


スイッチ 2

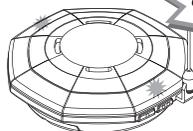
①に戻る

設定内容を登録する

設定モード中、メインユニットの【スイッチ 1】と【スイッチ 2】を同時に 2 秒長押しすると、メインユニットから「ピロリリー」と鳴り、設定を登録します。



同時 2 秒長押し

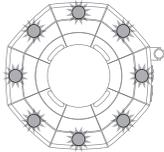
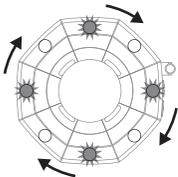
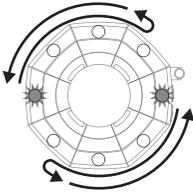
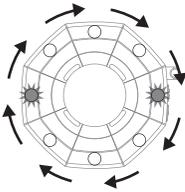
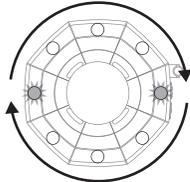
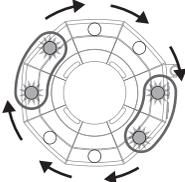
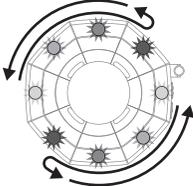


威嚇 LED の点滅パターン

警戒モード時のメインユニットの威嚇 LED 点滅パターンを 7 種類の中から選択することができます。

※ 設定方法は P25 を参照ください。

点滅動作一覧

設定	点滅イメージ	設定	点滅イメージ
①フラッシュ		⑤サイクル	
全点滅する		2 対の LED が 1 つずつ移動する	
②スキャン		⑥ループ	
順に点滅して移動し、順に点滅して戻る		1 対の LED が 1 つずつ移動する	
③スウィング		⑦ダブルループ [初期設定]	
順に点灯して半周する		2 対の隣り合った LED が 1 つずつ移動する	
④ターン		7 種類の点滅パターンは こちらから確認できます。 	
順に点灯しながら移動し、順に消灯しながら戻る			

応用操作

警報履歴を確認する

本製品は警報（強い衝撃とドア開と傾斜）の履歴をリモコンとメインユニットに記憶します。リモコン操作により、警報履歴を確認することができます。

- 1) 警戒モード解除中に、リモコンの【STOP スイッチ】を押します。
- 2) 警報履歴がある場合は、リモコンのLED表示が点滅し、メインユニットのサイレン音と威嚇LEDが点滅します。履歴がない場合は反応しません。

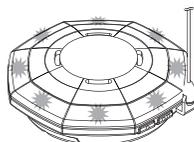


警報履歴がある場合

STOP
スイッチ



LEDが点滅します。
※リモコンはアラーム通知を行なっていれば、通信圏外でも表示を行います。



威嚇LEDがサイレン音に
合わせ点滅
※警戒モードの解除信号を受信したときのみ表示します。

- ・メインユニットは警戒モード解除中に、リモコンからの警戒モードの解除信号を受信した場合のみ履歴を表示します。
- ・リモコンはアラーム通知を行なっていれば、通信圏外でも表示を行います。

	警報種類	メインユニットサイレン音	リモコンLED表示
優先度 ↑ ↓ 低	ドア開	ピーピー	LED（赤）を2秒点滅
	傾斜	ピーピピッ	LED（橙）を2秒点滅
	強い衝撃	ピッピピッ	LED（緑）を2秒点滅

※ メインユニットの威嚇LEDはサイレン音に合わせて点滅を行います。

👉 アドバイス

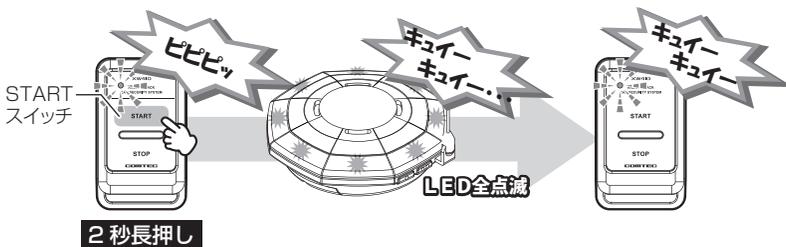
- ・メインユニットに複数の警報を行なった履歴がある場合、優先度の高い警報の履歴を表示します。
- ・リモコン操作や純正キーレス操作により警戒モードが開始されると、警報履歴はクリアされます。それ以外の操作では履歴は消えません。
- ・メインユニットは警報を行なった時点で履歴として記憶し、リモコンはアラーム通知を行なった時点で履歴として記憶します。

パニックアラーム機能

車両に不審者が近付いた時や周囲に異常を知りたい時などに、リモコン操作でメインユニットの警報音を強制的に鳴らすことができます。

1) 【START スイッチ】を **2秒長押し** をします。

- ・リモコンから「ピピピッ」と音が鳴り、LED が橙色に点灯します。
- ・メインユニットから「キューーキューー…♪」と警報音が鳴り、威嚇 LED が点滅します。
- ・「キューーキューー♪」とアンサーバック音が鳴り、リモコンの LED が点灯します。



停止方法

リモコンの【STOP スイッチ】を押すか、約 30 秒経過することでパニックアラームは終了します。

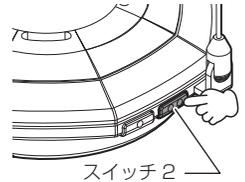
応用操作

立体駐車場モード

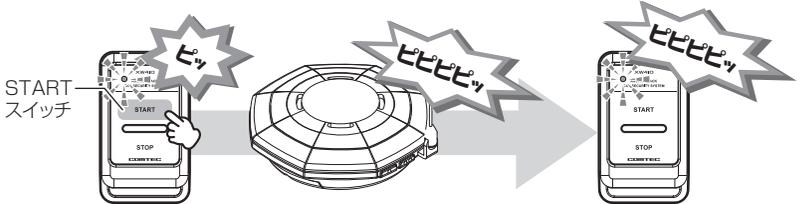
立体駐車場モードに設定し、警戒モードを開始することで、本製品はドア開および電源切断のみの監視を行います。機械式の立体駐車場など振動や衝撃を受けるような場所に駐車する場合にご使用ください。

設定方法

- 1) エンジン停止後、車両から降りる前にメインユニットの【スイッチ 2】を押します。
 - ・メインユニットから「ピー」と音が鳴り、LEDが1回全点滅します。



- 2) リモコンの【START スイッチ】を短押しします。
 - ・「ピッ」とスイッチ操作音が鳴り、リモコンのLEDが点灯します。
 - ・メインユニットから「ピピピピッ」と音が鳴ります。
 - ・「ピピピピッ」とアンサーバック音が鳴り、リモコンのLEDが点灯します。
 - ・威嚇LEDが設定したパターンで点滅(⇒P31)し、警戒モードとなります。



解除方法

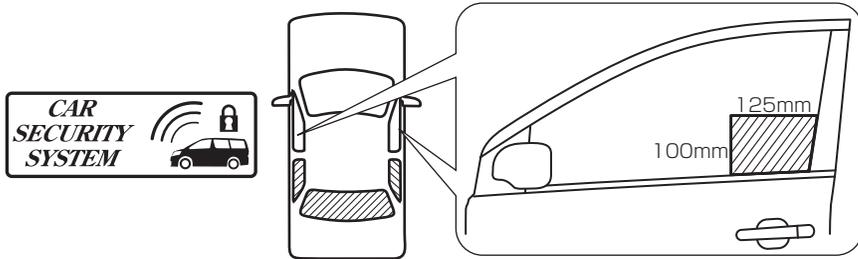
警戒モード開始中にリモコンの【STOP スイッチ】を短押しする事で、立体駐車場モードでの警戒モードを解除することができます。

👉 アドバイス

- ・立体駐車場モードにて警戒モードを開始する場合、警戒モードを開始する前に毎回メインユニットの【スイッチ 2】を押し、設定を行う必要があります。
- ・立体駐車場モードをキャンセルする場合は、再度メインユニットの【スイッチ 2】を押すか、リモコンの【STOP スイッチ】を短押ししてください。

セキュリティステッカーの貼付け場所について

セキュリティステッカーは必ず車両外側のウィンドウガラスへ、下図の斜線で示す任意の位置に貼付けてください。



- フロントガラスには貼らないでください。
- ウィンドウガラスのゴミ、ホコリ、油汚れ等を取除いてから貼付けを行なってください。
- 貼付け位置は、リアワイパーを避け、向きに注意して貼付けを行なってください。

付録

リモコンの ID コードを登録する

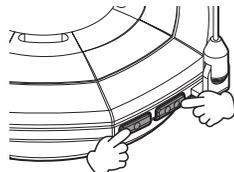
- ・リモコンは最大 2 台（付属のリモコン含む）まで登録することができます。
 - ・リモコンを紛失または破損した場合、新しいリモコン（別売）を購入し、『ID コード』をメインユニットに登録することで、引き続きご使用いただけます。新しいリモコンの購入に関しましては、ご購入された販売店へお問い合わせください。
 - ・リモコンは、1 台目（付属）、2 台目（追加）で登録方法が異なります。
 - ・リモコンを紛失した際は、紛失したリモコンで操作できないように、再登録および追加登録を共に行う事をおすすめします。
- ※ 警戒モード中は登録できません。

登録方法

《共通操作：ID 登録モードに入る》

- 1) メインユニットの【スイッチ 1】と【スイッチ 2】を同時に 2 秒長押しし、設定モードに入ります。

・メインユニットサイレンから「ピロリロト」と音が鳴ります。



同時 2 秒長押し

- 2) メインユニットの【スイッチ 2】を 6 回押し、その後【スイッチ 1】を押すと ID 登録モードに入ります。

・メインユニットサイレンから「ピロリロピロリート」と音が鳴ります。

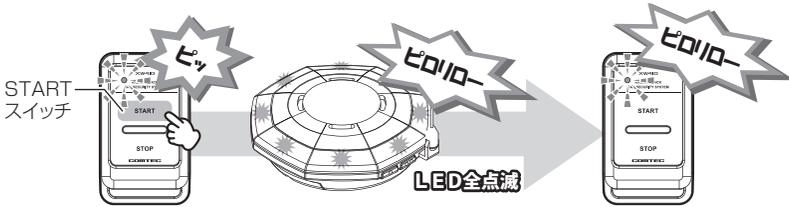
・威嚇 LED が全点滅します。



◇ 1 台目（付属）のリモコンの再登録方法

威嚇 LED が全点滅してから 30 秒以内に、登録するリモコンで【START スイッチ】を押します

- ・メインユニットサイレンから「ピロリロー♪」と音が鳴り、威嚇 LED が消灯します。
- ・リモコンから「ピロリロー♪」と音が鳴り、登録完了です。



◇ 2 台目のリモコンの追加登録方法

威嚇 LED が全点滅してから 30 秒以内に、登録するリモコンで【STOP スイッチ】を押します

- ・メインユニットサイレンから「ピロリロー、ピロリロー♪」と音が鳴り、威嚇 LED が消灯します。
- ・リモコンから「ピロリロー、ピロリロー♪」と音が鳴り、登録完了です。



👉 アドバイス

2 台目のリモコンを追加登録した場合、メインユニットが異常を検知した際は、2 台のリモコン共に異常通知を受信します。

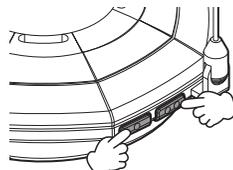
付録

設定を初期状態に戻す（オールリセット）

全ての設定をお買い上げ時の状態に戻します。

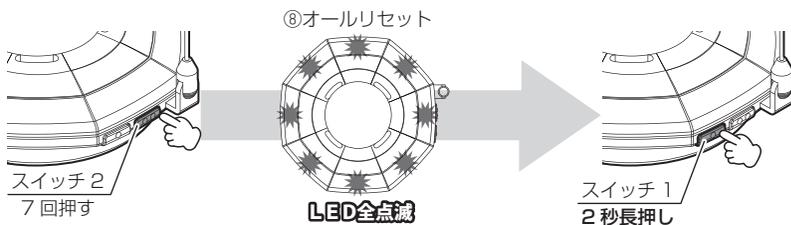
- 1) メインユニットの【スイッチ 1】と【スイッチ 2】を同時に 2 秒長押しし、設定モードに入ります。

・メインユニットサイレンから「ピロリロ♪」と音が鳴ります。



同時 2 秒長押し

- 2) メインユニットの【スイッチ 2】を 7 回押し、その後【スイッチ 1】を 2 秒間長押し すると本製品の設定がすべて初期設定に戻ります。



👉 アドバイス

オールリセットを行なっても車両の初期設定情報は消去されません。OBD II アダプターを抜き差しした場合のみ、車両の初期設定を行なってください。

お買い上げ時の設定一覧

設定項目	設定内容	参照ページ
衝撃センサー感度	レベル 4	P26
空圧センサー感度	感度：中	P27
傾斜センサー感度	感度：中	P27
威嚇 LED 点滅パターン	パターン⑦ ダブルループ	P28,31
警報音	サイレン：ON スタート音：ON	P29
キャンセルタイマー	OFF	P29

故障かな?と思ったら

症状	確認内容	対処方法	参照ページ
リモコンの操作ができない	・リモコンの電池が消耗していませんか?	・新しい電池 2 個と交換してください。	P8
	・リモコンの電源がOFFになっていませんか?	・リモコンの電源を ON にしてください。	P17
警戒モードが開始しない。	・リモコンを手等で包み込んで操作していませんか?	・リモコンを正しく持って操作してください。	P7
	・通信エリア圏外ではありませんか?	・通信エリアの確認を行い、使用される場所が通信エリア内か確認してください。	P18
	・リモコンで操作してもメインユニットが反応しませんか?	・ID コードの再登録を行なってください。	P36,37
	・OBD II アダプターが外れていませんか?	・確実に接続してください。	P11
	・エンジンキーが OFF の位置になっていますか?	・純正キーレス連動対応車種では IG 制御が可能な車両の場合、エンジンキーが ON になっていると警戒モードを開始できません。	P15,19
	・各機能の設定を変更中ではないですか?	・各機能の設定を変更中は警戒モードを開始できません。変更を終えてから警戒モードを開始してください。	—
	・ID 登録モード中ではありませんか?	・ID 登録モード終了後、警戒モードを開始してください。	P36,37
純正キーレスやスマートキーの操作で警戒モードを開始できない	・純正キーレス連動対応車種ですか?	・純正キーレス連動に対応していない車両の場合、純正キーレスやスマートキーの操作で警戒モードを開始できません。XW410 純正キーレス連動対応車種一覧表をご確認ください。	P15
	・OBD II アダプターが外れていませんか?	・確実に接続してください。	P11
警戒音が鳴らない	・初期設定を行いましたか?	・純正キーレスやスマートキーの操作で警戒モードを開始する場合、必ず初期設定を行なってください。	P12~14
	・警報音の設定が OFF になっていませんか?	・警報音の設定を変更してください。	P29
メインユニットからの警報通知をリモコンが受信できない	・メインユニットとリモコンの間に遮蔽物がありますか?	・遮蔽物の少ない場所へ移動してください。	P7
	・メインユニットのアンテナ付近に金属(ピラーなど)がありませんか?	・金属部より 5cm 以上離して取付けを行なってください。	P10
	・リモコンの電源が OFF になっていませんか?	・リモコンの電源を ON にしてください。	P17
	・周囲に電波を出すものがありますか?	・周囲の電波状況によっては電波が干渉してしまい、届かない場合があります。	—
	・通信エリア圏外ではありませんか?	・通信エリアの確認を行い、使用される場所が通信エリア内か確認してください。	P18
リモコンのスイッチ操作時の音が「フッブ」に変わった	・リモコンの電池電圧が低下しています。	・リモコンの電池を交換してください。	P8,24
メインユニットの動作音が「フーフッ」に変わった	・車両バッテリーの電圧が低下しています。	・車両バッテリーの点検をおすすめします。	P24

付録

アフターサービスについて

保証書

- ・保証書は、必ず「販売店名・購入年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- ・保証書に販売店名、購入年月日を証明するものが無いものやコピーした保証書、インターネットオークション等で個人売買された物は保証対象外とさせていただきます。

保証期間

ご購入日から1年間です。

対象部分：メインユニット・リモコン・OBD II アダプター

※ ただし、付属品等の消耗品は除く。

修理を依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」(⇒P39)を参照し点検をしていただいても、なお症状が改善されない時は販売店へご相談いただき、故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

・保証期間内の場合

恐れ入りますが、取付販売店に保証書をそえて、製品をご持参ください。保証規定に従って修理いたします。

・保証期間が経過している場合

取付販売店にまずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

・本製品の故障による代替品の貸出しは弊社では一切行なっておりません。

・本製品を修理のため、お送り頂く場合の送料および取付け・取外し等にかかる全ての費用は、保証に含まれておりません。送料着払いにて発送された場合、弊社からお客様に着払いにて返送させていただきます。あらかじめご了承ください。

その他ご不明な点がございましたら、販売店までお問い合わせください。

リモコンを紛失または破損・水没

・リモコンを紛失や破損した時は、販売店にてご購入ください。

・新しいリモコン（オープン価格）を購入された場合は、「リモコンのIDコードを登録する」(⇒P36,37)をご覧ください、IDコードの再登録を行なってください。

本書にしたがって、正常な取付け・接続・使用状態で製品に故障が生じた場合は、「保証書」の保証規定にしたがって修理いたします。ただし、上記以外の取付け・接続・使用状態による車の故障や事故等の付随的傷害・損害の保証については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

製品仕様

メインユニット

技術基準	特定小電力無線
送信周波数	920MHz 帯
送信出力	10mW
警報音圧	最大 115dB (正面 10cm)
動作温度範囲	- 10℃~+ 80℃
電源電圧	12V 車専用
消費電流	待機中：約 10mA / 約 16mA (内蔵バッテリー充電時) 警戒中 (平均)：約 25mA / 約 31mA (内蔵バッテリー充電時) 警報中 (平均)：約 160mA 警報中 (最大)：約 210mA
ケース寸法	70 (W) × 70 (H) × 23.3 (D) mm (アンテナ部除く)
重量	68g (内蔵バッテリー含む)

リモコン

技術基準	特定小電力無線
送信周波数	920MHz 帯
送信出力	10mW
動作温度範囲	- 10℃~+ 60℃
使用電池	リチウム電池 CR2032 × 2
電池寿命	約 5 ヶ月
ケース寸法	33.5 (W) × 56 (H) × 13.3 (D) mm
重量	22g (電池含む)

※ 本製品の外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。